

アメリカ合衆国 ジョー・バイデン大統領 閣下

## 抗 議 書

貴国は2024年5月14日にネバダ州の核実験場で臨界前核実験を行ったが、核実験は核兵器の維持や新たな核兵器開発競争につながるものであり断固容認できないものである。被爆者をはじめ核兵器廃絶を求める多くの人々の願いに背く行為として、断じて許すことはできず、厳重に抗議する。

世界では戦争や紛争による民間人の犠牲者が増え続けており、軍事力により問題を解決しようとすることは、市民に多大な被害をもたらし人権が脅かされている。核実験の実施や核戦力の保持は、核兵器のない平和な世界を希求する市民の声を無視するものである。

わが国は、世界で唯一の被爆国であり、広島・長崎の悲劇を再び繰り返してはいけないとの固い決意のもと、非核三原則を堅持している。また三田市においては、1989年3月28日に、日本国憲法の平和精神に基づき、恐るべき核兵器の廃絶を願い、永遠の平和社会を築くことを誓って「非核平和都市宣言」を行っており、今日まで積極的に非核平和行政の推進を図ってきたところである。

私たちは、すべての国が今後一切の核実験を行わず、一日も早く地球上からすべての核兵器が廃絶されることを求める。

ここに、三田市民の代表として抗議するとともに、貴国が核実験を二度と実施されないこと、さらには核を廃絶されることを強く求める。

2024年5月21日

兵庫県三田市長 田村 克也